

# “The Edge of Hope” (希望のきざし)

講演会：日時 8月29日(火) 13時~15時

会場 1階交流ホール 定員  
約50名

講演会では、二人が世界最大の難民キャンプで生活する人々をどのように撮影しているか。そして、どんな思いで撮影しているか。また二人が辿ってきた道なども交えてお話します。(同時通訳があります。)



Mr. Anthony Dawton



Mr. Jim McFarlane

アントニー・ドートン氏は、難民やカシミール、ガザ、シリア、ニジェール、レバノン等紛争地で暮らす人々と長きにわたり活動している写真家です。作品はカンヌのソニーワールドフォトグラフィーアワードでも紹介されました。「芸術は真の世界言語だ。国も人種も身分も問わない。私たちに気付かせ、希望を与えてくれる。」リチャード・カムラー1955年生まれ：イギリス在住

ジム・マクファーレン氏は、写真家として25年活動した後、現在はニジェール、ジョーダン、レバノン、ガザ、バングラデシュ、ロシアで撮影した作品をNGOに提供しています。作品はオーストラリア国立図書館で展示されており、カンヌのソニーワールドフォトグラフィーアワードでも紹介されました。「私は写真を通じて、伝えるすべを持たない人々の思いを代弁している。」ユージン・スミス  
1955年生まれ：オーストラリア在住

※講演会は先着順で自由席です。参加を希望される場合は事前に奈良県ユニセフ協会までご連絡頂くとお席を確保させていただきます。